

## 第32回 病態生化学セミナーのご案内

日時：平成22年5月25日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部 看護学科棟3階 会議室

演題：神経と糖鎖の甘くない関係～神経可塑性とプロテオグリカン

The relationship between the nervous system and sugar: it's not so sweet! – Neural plasticity and proteoglycan

演者：名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座

門松 健治 先生

中枢神経と軟骨は、他の組織と異なって、ヒアルロン酸とプロテオグリカンに富んだユニークな細胞外マトリックスを持っている。この組成が神経ネットワークの維持に重要である。この考えを裏打ちするように、損傷などの病的状況では無秩序なプロテオグリカンの産生が神経ネットワーク再形成に不利に働く。この機構として、軸索再生阻害はもとより、シナプス可塑性の抑制もプロテオグリカンによってもたらされるという見方が近年受け入れられつつあるのである。一方、生理的状況でも、大人の脳が子どもの脳に比べて機能的に固いことの拠り所の一つをプロテオグリカンに求めることができる。このような神経と糖鎖の甘くない関係について本セミナーで言及したい。

**【門松 健治】**

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp